

JAAGA AWARD 2025 受賞者紹介／創設 30 周年記念祝賀会

2025 JAAGA AWARD Awardees Introduction
/ JAAGA 30th Anniversary Celebration, Jul 14 '26

講演会終了後、会場をグランドヒル市ヶ谷の3階「瑠璃」に移して JAAGA AWARD 2025 受賞者紹介及び JAAGA 創設 30 周年記念祝賀会が開催された。参加者は 285 名で、会員 168 名（正会員 82 名、個人賛助会員 30 名、法人賛助会員 21 社 53 名、名誉会員 3 名）、招待者 91 名（空自関係者 49 名、米軍関係者 35 名、その他招待者 7 名）及びその他 26 名（音楽隊、副官等）であった。（菅原理事記）

【JAAGA AWARD 2025 受賞者紹介】

祝賀会に先立ち、川波理事の日本語及び英語による司会進行により JAAGA AWARD 2025 受章者紹介が行われた。

はじめに井筒会長より、「JAAGA AWARD は、航空自衛隊と米空軍との友好と相互理解に貢献した隊員を表彰するために 1998 年に創設され、これまで 28 年間で合計 206 名の隊員、航空自衛隊から 123 名、米空軍から 83 名が表彰されています。」旨の説明があった。

三沢地区から、第 35 戦闘航空団司令官業務企画室長のエリカ・ウーレヴァー中尉、北部航空警戒管制団の白石華咲希 3 等空曹・アルベスご夫妻、関東地区から第 374 空輸航空団のシドニー・ウッドハウス上等空兵、作戦情報隊の池田綾子空曹長、作戦システム運用隊の平沼知樹 2 等空曹、第 1 輸送航空隊の貝塚茂樹 2 等空曹・夕有子ご夫妻、宇宙作戦団の田口嘉大 1 等空曹・真子ご夫妻、沖縄地区より、第 18 航空団第 718 部隊支援中隊のジャクリン・キャンシーノ 3 等空曹、那覇救難隊の中尾和宏准空尉・由紀ご夫妻、以上 9 名の受賞者が紹介された。

勤務のため当日参加できなかったジャクリン・キャンシーノ 3 等空曹を除く 8 名の受賞者及びパートナーの方々が中央ステージ上に登壇して井筒会長と握手を交わした後、記念写真撮影が行われた。会場からは惜しめない拍手が受賞者に送られた。





【30 周年創設記念祝賀会】

引き続き川波理事の司会により、30 周年創設記念祝賀会が開始となった。

＜日米両国国歌独唱＞

はじめに日米両国の国歌独唱が、米国国歌は米空軍太平洋音楽隊のアシュリー・ヒューズビー軍曹が、日本国国歌は航空中央音楽隊の清水万理子士長がそれぞれ独唱し、参加者は正面の国旗に正対して清聴した。

続いて井筒会長より、「JAAGA は日本と米国の航空部隊間の緊密な協力と相互理解を促進するために 1996 年に創設され、今年はその創設から 30 周年を迎えます。この 30 年間、私たちは両国の航空部隊間の協力強化と相互理解の深化に尽力する幅広い活動を続けてまいりました。長年にわたり私たちの活動を支えてくださったすべての方々の多大なご尽力に深く感謝申し上げ、過去から現在に至るまで、協会の発展と成功に貢献してくださったすべての方々に心からの感謝の意を表します。創設 30 周年を迎えるにあたり、創設メンバーの方々の功績を忘れてはなりません。その献身と先見の明に敬意を表し、しばしの時間を割いて感謝の意を表したいと思います。冷戦終結後、当協会の創設メンバーは日米関係を深く憂慮しました。そして航空自衛隊と米空軍の絆を将来にわたり強固なものとするため、現役だけではなく退官者もその懸け橋にならなければならないと考えました。その努力が現在の日米の空と宇宙の関係強化に結実し、JAAGA がその一翼を担ってきたことを誇りに思

います。」との挨拶があった。



<Charter Member 表彰（正会員）>

会長より、創設メンバーである正会員の方々に感謝の意が表され、31名の創設メンバーがスライドで紹介された。創設メンバーの内、当日臨席された大橋武郎様、小田康夫様、森本益夫様の三名の方がステージ上に招かれ、井筒会長より全会員を代表して記念ピンバッジが贈呈され、記念撮影が行われた。会場はあたたかく大きな拍手に包まれた。



<Charter Member 表彰（法人賛助会員）>

続いて、創設メンバーである法人賛助会員の皆様に感謝の意を表され、14社の代表者が登壇して表彰され、記念品授与及び写真撮影が行われた。会場内は大きな拍手をもって感謝の意を表した。表彰された創設メンバーの法人賛助会員は、株式会社IHI、伊藤忠商事株式会社、川崎重工業株式会社、株式会社SUBARU、双日株式会社、東京航空計器株式会社、株式会社東芝、日本電気株式会社、日本飛行機株式会社、富士通株式会社、三菱重工業株式会社、三菱商事株式会社、三菱電機株式会社及び三菱プレジジョン株式会社の14社であり、各社に記念品が贈呈された。

会長より、「来春、航空自衛隊は航空宇宙自衛隊へと進化します。私たちの協会は今後も、空と宇宙を守る両国の隊員、そして航空宇宙防衛に携わる隊員の皆様を力強く支援し、日米の空・宇宙分野における協力と連携が円滑に進むよう努めてまいります。そして、そのこと

を通じて、これからのより強固な日米関係の構築に貢献してまいります。改めて、引き続きご支援頂けますようお願い申し上げます。」との挨拶で表彰式が締めくくられた。



<来賓あいさつ>

次に本日のご来賓の方々のうち、宮崎正久防衛副大臣、門間航空幕僚副長及びキャリー第5空軍司令官より、要旨次のとおり御祝辞をいただいた：

（防衛副大臣 宮崎正久様）

JAAGA 創設 30 周年をお祝いするとともに、井筒会長はじめとする会員の皆様、米空軍及び航空自衛隊の日米関係者による JAAGA 発展への貢献に対し敬意を表します。1996 年以来、JAAGA が航空宇宙分野における日米両国の相互理解や防衛協力の促進に寄与してきたことに対し、感謝申し上げます。インド太平洋地域の安全保障環境は過去にないほど厳しくなっています。日米同盟は日本の防衛と地域の平和と安定の礎石であり、共同訓練や情報共有、先進技術分野での協力などにより更なる協力の深化を期待しています。6/22 から 7/1 にかけてバリアント・シールド 2026 が西太平洋にて行われ、7/9 には沖縄北方の東シナ海上空で日米空軍種の共同訓練が実施されました。今日、日米協力は宇宙やサイバー領域にも拡がり、また協力はシステムや装備だけではなく日米の人と人の相互信頼に成り立っています。JAAGA はこうした友情や信頼関係の向上に大きく寄与しており、30 周年という節目は、JAAGA 及び日米関係の更なる進展に繋がるものと期待しています。



(航空幕僚長代理 航空幕僚副長 門間空将)

JAAGA 創設 30 周年をお祝い申し上げます。同時に米国の建国 250 周年をお祝い申し上げます。また、井筒会長が述べたとおり航空自衛隊は航空宇宙自衛隊へと生まれ変わります。ということで今年は三つの記念日が重なっていることになります。本日は森田航空幕僚長が国外出張のため出席できませんでしたので、森田空幕長からのメッセージを代読します：JAAGA 創設 30 周年をお祝い申し上げます。隊員への激励や文化交流支援など、多大なるご支援に感謝いたします。JAAGA 主催の各種行事等を通じ、年々日米隊員相互の絆がより強固なものとなっていると実感しており、まことに喜ばしく思います。我が国を取り巻く安全保障環境が戦後最も厳しく複雑な様相を呈している中、航空自衛隊は本年度中に航空宇宙自衛隊へと改編されることとなりました。その名に相応しい組織となるよう、更なる能力の向上に努めてまいり所存です。また本年は米国建国 250 年という大きな節目の年であるとともに、在日米空軍にとっても第 5 空軍司令官が専任化されるという重要な変革の年だと認識しています。これはインド太平洋地域の平和と安定にとって日米同盟が重要であること、更には日米空軍種間の連携が戦略的意義を有することの左証であると認識しています。両国の絆をより強固なものとするためには共同訓練を通じた相互運用性の更なる向上といった目に見える取り組みに加えて、相互の友情や信頼、尊敬といった無形の要素も極めて重要です。こうした無形の要素の醸成・深化に JAAGA が果たしてこられた役割は極めて大きいものと認識しています。今後とも空自と米空軍との懸け橋として一層の融和と発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



(第 5 空軍司令官キャリー中将 Commander, the Fifth Air Force, Lt GEN Joel Carey)

JAAGA 創設 30 周年をお祝い申し上げます。30 年というのは自分の日本での軍歴とも重なる期間です。私は任官後早い時期に日米関係の重要性を学びました。勿論、楽しいことばかりでなく、先ほどフィールズ元司令官からあったとおり日米間で立ち向かったハードな状況も多々ありました。ご承知のとおり、現在の安全保障環境は厳しさを増していくと容易に想定されます。われわれの鉄の絆は今まで以上に重要性を増すことになります。退役軍人の方々が現役時代に蒔いた種が現在実を結んでいることを実感していると思います。こう

した進化は、指揮統制、第5世代戦闘機、KC-46A、IAMD など、これからも進展していくことでしょう。しかし現状で満足することなく、日米間の統合を次の段階に進めていく必要があります、自分の上司や更にその上司にもその重要性を具申していく所存です。約 15000 人の米第5空軍兵を代表して JAAGA30 周年を祝福いたします。



<来賓紹介>

司会の川波理事より来賓の方々が紹介され、会場から大きな拍手が送られた。紹介された来賓の方々は次のとおり：

- * 名誉会員元空軍参謀長シュワーツ大將 (Honorable member, the former Chief of staff, United States Air Force, GEN and Mrs. Norton Schwartz)
- * 元在日米軍司令官兼5空軍司令官バートン・フィールド中將 (Today's Guest Speaker and the former commander, US Forces Japan and 5th Air Force United States Air Force, GEN Burton Field)
- * 航空総隊司令官 稲月秀正空将 (Commander, Air Defense Command, Lt GEN Inatsuki Hidetada)
- * 補給本部長 小島 隆空将 (Commander, Air Materiel Command, Lt GEN Kojima Takashi)
- * 航空開発実験集団司令官 佐藤網夫空将 (Commander, Air Development and Test Command, Lt GEN Sato Amio)
- * 中部航空方面隊司令官 久保田隆裕空将 (Commander, Central Air Defense Force, Lt GEN Kubota Takahiro)
- * 米第5空軍副司令官ネイサン・コルンガ大佐 (Deputy Commander, the Fifth Air Force, Col Nathen Colunga)
- * 在日米宇宙軍司令官ジョン・パトリック大佐 (Commander, U.S. Space Forces Japan, Col John Patrick)
- * 米国大使館付空軍武官アンディー・リー大佐 (Air Attaché to the U.S. Embassy, Col Andy Lee)
- * JANAFA 会長 渡邊剛次郎様 (The President of the Japan America Navy Friendship

Association, ADM Watanabe Gojiro)

* 元統合幕僚長 岩崎 茂様(The Former Chief of Staff, Joint Staff, GEN Iwasaki Shigeru)

* 元航空幕僚長 遠竹郁夫様 (The Former Chief of Staff, Koku-Jieitai, GEN Totake Ikuo)

* 元航空幕僚長 外蘭健一郎様 (The Former Chief of Staff, Koku-Jieitai, GEN Hokazono Ken-ichiro)

* 元航空幕僚長 齊藤治和様 (The Former Chief of Staff, Koku-Jieitai, GEN Saitoh Harukazu)

* つばさ会副会長、元航空幕僚長 丸茂吉成様 (The Vice President of the Tsubasa-kai, the Former Chief of Staff, Koku-Jieitai, GEN Marumo Yoshinari)



<祝電披露>

来賓紹介に続き、川波理事より祝電が披露された。紹介された祝電は次のとおり：

* 前参議院議員 佐藤正久様 (Former Member of the House of Councilors, Mr. Satoh Masahisa)

* 名誉会員であり米空軍参謀総長 ケネス・ウィルスバック大將 (Honorable Member, and Chief of Staff, U.S. Air Force, GEN Kenneth Wilsbach)

* 名誉会員であり米太平洋軍司令官 ケビン・シュナイダー大將 (Honorable Member, and Commander, Pacific Air Force, GEN Kevin Schneider)

* 名誉会員であり元米国統合参謀本部議長 リチャード・マイヤーズ退役大將 (Honorable Member, and Former Chairman of the Joint Chiefs of Staff of the U.S., GEN Richard Myers)

その他頂戴した祝電については、祝賀会場入り口に掲示している旨のアナウンスがあった。

<祝宴開始～音楽演奏>

祝宴のはじめに、航空中央音楽隊の金管メンバー5名（トランペット×2、ホルン、トロンボーン、チューバ）による演奏で岡野貞一作曲「ふるさと」を清水士長が、続いてカーマイケル作曲「スターダスト」を米空軍太平洋音楽隊アシュリー軍曹がそれぞれ歌唱し、続いて御祝の楽曲としてスーザ作曲「海を越える握手」が奏でられた。日米両国のフレンドシップを象徴し、あたたかさを感じさせるような楽曲と洗練された演奏に参加者が耳を傾け、最

後にフロアから大きな拍手が送られた。

歓談の時間は、あちらこちらで日米参加者の輪ができており、グラスを片手に和やかな雰囲気ではしゃいでいる様子であった。







<お開き>

祝賀会の締めくくりとして、元航空幕僚長であり、つばさ会副会長、そしてJAAGA 前会長である丸茂吉成様から挨拶があった：JAAGA 初代会長は大村元航空幕僚長、当時の米第5空軍はエバハート司令官でしたが、以来30年の長い歴史があります。皆様からのJAAGAへのご理解、ご支援によりJAAGAはこの30年、大きな成功を収めることができました。次の30年も日米の関係は更に進展し、強化され、繁栄することとなるでしょう。

最後に丸茂前会長の発声による乾杯をもって、会場内はあたたかな雰囲気の中、祝賀会はお開きとなった。

